

第 21 号の刊行にあたって

「鳴門教育大学授業実践研究－授業改善をめざして－」第 21 号をお届けします。新型コロナウイルスパンデミックは依然として社会の混乱をもたらしており、学校現場もその例外ではありません。2019 年から開始された GIGA スクール構想のもと、2021 年 3 月には 9 割以上の端末配布が終わった（文科省調べ）とされています。情報通信技術（ICT）の積極的な活用は本学でも進められていますが、その授業実践への可能性の探求は未だ端緒に着いた段階であり、授業改善を報告する場として本誌の役割は今後とも重要であると考えます。

今回の第 21 号では 11 編の論文が投稿されました。いずれも授業改善への新たな試みを報告するものであり、多くの方々にその成果を知っていただきたいと思います。

最後となりましたが、授業実践研究の場としてご協力いただきました諸学校、関連機関などの皆様方、本誌の刊行にあたり多忙な業務の中、論文の査読にあたっていただいた編集専門部会委員、ならびに事務処理を行っていただいた事務局の皆様方に深く感謝申し上げます。

令和 4 年 3 月

「鳴門教育大学授業実践研究」誌編集専門部会

主査 米 延 仁 志